

「コーチング学研究」投稿論文チェックシート

論文投稿前にこのチェックリストに沿って内容確認後、☒印をつけてください。なお、筆頭著者が大学院生の場合、指導教員により再度チェック項目を確認いただいた後、氏名を記入してください。

チェックシートは、投稿論文の原稿とともに提出してください。

- ☐ この投稿論文は、他誌に発表・投稿されていない。
- ☐ この投稿論文は、研究倫理にそった適正な研究活動、または第3者による研究倫理審査機関から認可された研究により執筆されている。
- ☐ 実験、測定等の研究に参加、協力した者（被験者等）には、この研究について十分な説明を行い、内容を理解された上で、同意がなされている。
- ☐ 倫理的配慮を必要とする論文は、その内容を記載している。
- ☐ 著者および共著者においては、この投稿論文における貢献、役割が明確に分担されている。
- ☐ 著者および共著者は、すべて本学会の会員であり、会費を延滞していない。
- ☐ この投稿論文の内容は、コーチングと関連があり、得られた知見をもとにした「コーチング学への貢献」、または「コーチング実践への示唆」の内容が章を起こして記述されている。
- ☐ 原稿の表紙には、以下の内容が記入してある。
 - ☐ 論文の種類
 - ☐ 論文題目
 - ☐ 英文表題
 - ☐ 著者名、共同研究者（日本語、英語の両表記）
 - ☐ 所属機関名（日本語、英語の両表記）
 - ☐ キーワード（日本語、英語でそれぞれ4～6語程度）
 - ☐ 連絡先の住所、氏名、電話番号、E-mail アドレス

●論文の種類「総説」、「原著論文」、「研究資料」、「実践報告」の投稿

- ☐ 抄録（英文抄録・和訳、和文抄録）

本文が和文の場合、英文抄録と和訳・本文が英文の場合、和文抄録

●すべての投稿

- ☐ 投稿の手引きで示されている体裁となっている。
 - ☐ A4判縦置き横書き、全角40字20行（英文綴りおよび数値は半角）
 - ☐ 行番号は、各ページ1～20となっている。
 - ☐ 本文の各ページの中央下に頁数が記入してある。
 - ☐ 図表には通し番号をつけ、本文とは別に一括している。
 - ☐ 図、表の挿入箇所を本文に記入している。
 - ☐ 文献リストは本文とは別にし、記載は筆頭著者のABC順、同一著者の場合は発表年順
 - ☐ 文献の種類による記載方法は投稿の手引きに従っている。
- ☐ 審査用原稿の表紙は、著者名、所属先名、連絡先など投稿者が特定できる情報を削除している。また本文中からも投稿者が特定できる情報（特定の学会発表や所属機関名、倫理委員会名、指導教員名、謝辞、付記などの情報）を削除している。
- ☐ 原稿の表紙、本文（キーワード、抄録を含む）、文献リスト、図表等は、デジタル・データとして、ひとつのファイルに統合して保存している。
- ☐ 正本原稿、審査用原稿の各デジタル・データは、「正本原稿：（論文演題名）」、「審査用原稿：（論文演題名）」等のそれぞれ別のファイル名で保存している。

コーチング学のカテゴリー（いずれか一つを選択）

- | | | |
|---|---|--|
| ☐ 一般コーチング学・コーチング学論 | ☐ <u>類型別コーチング学・コーチング学論</u> | ☐ <u>個別コーチング学・コーチング学論</u> |
| ☐ 一般コーチング学・コーチ論 | ☐ 類型別コーチング学・コーチ論 | ☐ 個別コーチング学・コーチ論 |
| ☐ 一般コーチング学・競技力パフォーマンス論 | ☐ 類型別コーチング学・競技力パフォーマンス論 | ☐ 個別コーチング学・競技力パフォーマンス論 |
| ☐ 一般コーチング学・トレーニング論 | ☐ 類型別コーチング学・トレーニング論 | ☐ 個別コーチング学・トレーニング論 |
| ☐ 一般コーチング学・試合論 | ☐ 類型別コーチング学・試合論 | ☐ 個別コーチング学・試合論 |
| ☐ 一般コーチング学・その他 | ☐ 類型別コーチング学・その他 | ☐ 個別コーチング学・その他 |

* 「一般コーチング学」とは、スポーツ横断的な研究成果をまとめたものを、「類型別コーチング学」とは、「測定スポーツ」、「評定スポーツ」、「判定スポーツ」、「球技」、「武道」などのスポーツ類型に横断的な研究成果をまとめたものを指す。「個別コーチング学」は、個別スポーツに関する研究成果をまとめたものを指す。

筆頭著者氏名